

令和元年度「田んぼの学校」指導者養成研修 in 静岡  
開催要項

- 1 目的 本研修では、「田んぼの学校」活動を通じた農村環境の維持や、人材を含めた地域資源のとらえ方などについて講義と実習で学び、「田んぼの学校」活動などの農村環境保全活動を実践する指導者等を養成します。  
今回の研修では、静岡県菊川市で「田んぼの学校」活動をしている団体「NPO 法人せんがまち棚田倶楽部」の取組を参考としながら、「田んぼの学校」活動を実際に体験（「棚田散策」「生きもの観察会」を予定）したり、棚田保全を通じた「田んぼの学校」活動の企画運営についてや、様々な人と連携する関係づくりについてのヒントなどを学びます。
- 2 主催 一般社団法人 地域環境資源センター
- 3 協力 NPO法人せんがまち棚田倶楽部
- 4 後援 申請中
- 5 開催日 令和元年7月12日（金）13：00から  
令和元年7月13日（土）15：30まで（1泊2日）
- 6 会場 (1)研修会場  
倉沢の棚田“千框（せんがまち）”、上倉沢公会堂  
（静岡県菊川市倉沢1121-1）  
※掛川駅～研修会場の送迎バスを手配します。  
(2)宿泊場所  
小菊荘  
（静岡県菊川市大石88）
- 7 対象 18歳以上の農村環境を活用した自然体験・環境教育に関心のある方、多面的機能支払交付金活動組織の役員・構成員、自治体職員の企画担当の方、土連職員、その他「田んぼの学校」活動に関心のある方など
- 8 定員 30名（最小催行人員15名） ※先着順

- 9 費用 (1)受講費：5,000円（保険料含む）  
(2)宿泊費：7,000円（1泊2食）  
(3)情報交換会代：2,000円（調整中）  
(4)2日目昼食代：500円  
☆以下の点について、予めご了承ください。  
・受講費の納入は指定の銀行口座への振込のみとさせていただきます。  
（他の費用は現地にて集金させていただきます。）  
・お部屋は相部屋（2～3人ずつのお部屋）となります。

#### 10 参加申込

- (1)申込方法 別紙「参加申込用紙」に必要事項を記入いただき、  
FAXまたはメールにて以下の宛先にお送り下さい。  
(2)申込宛先 (一社) 地域環境資源センター 農村環境部 宛  
FAX：03-3432-0743  
メールアドレス：tanbogk@jarus.or.jp  
(3)申込期限 令和元年7月3日（水）

#### 11 申込の受理および受講決定

お申込は、先着順に受理します。参加者には開催日1週間前を目途に「事前資料」「受講料請求書」をお送りします。

また、最小催行人数に達せず中止となる場合は、7月5日までにご連絡させていただきます。

#### 12 集合場所及び送迎バスについて

- (1)公共交通機関でお越しの方  
掛川駅12：15集合（下り12:09着／上り12:03着）  
掛川駅～研修会場 送迎バスにてご案内します。  
※1日目のお昼は各自で済ませてください。  
(2)自家用車でお越しの方・・・直接、研修会場へ12：50までにお越し下さい。

#### 13 その他

- (1)子どもゆめ基金  
この活動は、子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）の助成金の交付を受けて行うものです。  
(2)農業農村工学会技術者継続教育機構  
本研修は、農業農村工学会技術者継続教育機構の認定プログラムに申請中です。本研修のCPDは、9ポイントとなる見込みです。  
(3)「田んぼの学校」支援センター  
本研修参加者は、「田んぼの学校」支援センター会員に登録され、今年1年間の「田んぼの学校」情報を受け取ることができます。（登

録料・年会費とも無料)

1 4 問い合わせ先

一般社団法人 地域環境資源センター 農村環境部 担当：山崎、藤田

住所 〒105-0004 東京都港区新橋五丁目34番4号

農業土木会館6階

電話 03-5425-2461

FAX 03-3432-0743

「たんぼの学校」ホームページ <http://www.tanbonogakko.net/>

E-mail : tanbogk@jarus.or.jp

1 5 プログラム

次頁



## 1.5 プログラム

- \* 屋外での実習もありますので、動きやすい服装でご参加ください。また、雨天でも基本的に屋外には出ますので、雨具等もご準備下さい。

【1日目：7月12日（金）】

時間	所要	講義・実習	概要
12:50		集合、受付	
13:00	15分	開会(挨拶、趣旨説明、スタッフ紹介等)、オリエンテーション	
13:15～14:15	60分	アイスブレイク (お互いを知る時間)	(室内・実習) ・緊張を解きほぐす ・参加者同士の相互理解
14:15～14:55	40分	「田んぼの学校」指導者の役割	(室内・講義) ・今、求められている人材とは ・農村地域における環境学習の意義
15:00～16:00	60分	「せんがまち棚田倶楽部」について	(室内・講義) ・せんがまち棚田倶楽部について ・お茶農家中心の運営形態 ・大学や研究機関、企業との連携
16:10～17:40	90分	【体験】棚田せんがまちの散策	(室外・実習) ・“せんがまち”の美しい景観を望む ・体験「植物を探そう」
17:40～18:20	40分	移動(田んぼアート見学含む)	
18:45～20:00		夕食をかねた情報交換会	

【2日目：7月13日（土）】

時間	所要	講義・実習	概要
9:00～9:30	30分	安全管理について	(室内・講義) ・「田んぼの学校」活動時の留意点
9:30～12:00	150分	【体験】「生きもの教室」 (屋外、移動を含む)	(室外・実習) ・「生きもの教室」の運営手順を学習 ・“せんがまち”の生きものを知る
12:00～13:00		昼食(炊飯ing)	・せんがまち流の昼食を体験
13:00～14:00	60分	地域資源(もの・ひと)の魅力を活かす	(室内・講義) ・棚田の多面的機能を活かす視点 ・“せんがまち”が生きものにあふれている理由とその魅力について
14:10～15:00	50分	プログラム解説	(室内・講義) ・田んぼの学校プログラムの解説 ・参加者同士の意見交換
15:00～15:30	30分	ふりかえり	
15:30		終了・解散	

- \* 各講義、実習の間で適宜休憩をとります。
- \* 効果的な研修となるようカリキュラムを変更することがあります。予めご了承ください。